

## クリーブランド美術館蔵「桐竹鳳凰孔雀図屏風」の高精細複製品を大阪府和泉市に寄贈 綴プロジェクトにて土佐光吉ゆかりの地への里帰りを実現

キヤノン株式会社（以下、キヤノン）と特定非営利活動法人 京都文化協会（以下、京都文化協会）は、「綴プロジェクト」（正式名称：文化財未来継承プロジェクト）の第17期作品として制作した、クリーブランド美術館蔵「桐竹鳳凰孔雀図屏風」（伝 土佐光吉筆）の高精細複製品を、大阪府和泉市へ寄贈します。寄贈作品は、2025年6月26日（木）から2026年3月22日（日）まで和泉市久保惣（くぼそう）記念美術館で公開されます。



「桐竹鳳凰孔雀図屏風」高精細複製品  
The Cleveland Museum of Art, Leonard C. Hanna Jr. Fund 1986.2

### ■ 「桐竹鳳凰孔雀図屏風」の高精細複製品をキヤノンのイメージング技術と京都伝統工芸の融合により制作

「桐竹鳳凰孔雀図屏風」は、桃山時代（16世紀）に描かれたもので、桐と竹を背景に、鳳凰と孔雀の雄雌が並び、その細緻に彩色された美しい羽が金地の空間によく映えた絢爛豪華な風格を放つ作品です。右隻には中央に鳳凰を配し、その足元にはスミレやツクシといった春の草花が描かれています。対する左隻は、孔雀の周りにリンドウやホオズキが添えられ、深まりゆく秋を示しています。作者には、大和絵土佐派の絵師・土佐光吉の名が挙げられており、繊細な色遣いで、細部まで丁寧に描かれた作画の姿勢は、細画を得意とした光吉ならではの作と考えられています。

狩野派の要素があり大和絵と唐絵の融合が見られる本作は、日本美術史を語る上で価値ある作品として知られ、原本は米国のクリーブランド美術館にて所蔵されています。光吉は、当時の宮廷に仕える絵師を統括する絵所預（えどころあずかり）の所領があった和泉国（現在の大阪府南西部）に拠点を構え、商人や文化人などの町衆との繋がりがあったとされており、このたび、高精細複製品を制作することで、絵師ゆかりの地・大阪府和泉市への里帰りが実現しました。

制作にあたっては、キヤノンのフルサイズミラーレスカメラ「EOS R5」でオリジナルの文化財を撮影し、独自開発のカラーマッチングシステムを用いた画像処理を行った上で、12色の顔料インクを搭載した大判インクジェットプリンターで出力しています。さらに、京都の伝統工芸士が金箔などを用いた装飾を施し、屏風に仕立てることで、オリジナルの文化財を限りなく忠実に再現しています。

### ■ 和泉市久保惣記念美術館にて寄贈作品が公開

寄贈作品は、2025年6月26日（木）から2026年3月22日（日）まで、多くの東洋古美術の名品や国宝、重要文化財を所蔵し、地域の文化発信拠点として親しまれる和泉市久保惣記念美術館の本館ラウンジで公開※されます。この展示では、写真撮影が可能であるほか、鳳凰・孔雀の羽に見られる金など、作品の細部に至る色調や装飾までを忠実に再現した実物大ならではの迫力や美しさを、ガラスケース無しで間近で鑑賞できます。また、本作品は、その後も同館内で常設展示されるとともに、地域縁の絵師の作品として、和泉市主催の文化行事や地域連携によるイベントでの活用などが予定されています。

※ 本館ラウンジへの入場には別途入館料が必要です。開館時間や展示場所の詳細については、和泉市久保惣記念美術館のホームページをご覧ください。  
(<https://www.ikm-art.jp/>)

- 京都文化協会ホームページ : [kyo-bunka.or.jp](http://kyo-bunka.or.jp)
- キヤノン「綴プロジェクト」ホームページ : [global.canon/ja/tsuzuri/](http://global.canon/ja/tsuzuri/)

## 〈「綴プロジェクト」について〉

「綴プロジェクト」は、キヤノンと京都文化協会が 2007 年より共同で推進している文化支援活動です。日本古来の貴重な文化財には、歴史の中で海外に渡った作品や国宝として大切に保管されている作品など、鑑賞の機会が限られているものが多くあります。「綴プロジェクト」では、キヤノンの入力、画像処理、出力に至るイメージング技術と、京都伝統工芸の匠（たくみ）の技との融合により、オリジナルの文化財を忠実に再現した高精細複製品を制作しています。制作した高精細複製品は、文化財にゆかりのある社寺や自治体、博物館などへ寄贈し、寄贈先での一般公開や学校教育の現場など、さまざまな場面で活用されています。これまでに、葛飾北斎や俵屋宗達、尾形光琳の作品など、60 作品を超える高精細複製品を制作しました。

詳細は、「綴プロジェクト」のホームページをご参照ください。 <https://global.canon/ja/tsuzuri/>